

平成27年度原子力総合防災訓練【平成27年11月】

【訓練目的】

- ・国、地方公共団体、原子力事業者における防災体制や関係機関の協力体制の確認
- ・「伊方地域の緊急時対応」に基づく避難計画の検証、教訓事項を踏まえた緊急時対応等の改善 等

【実施日】平成27年11月8日(日)、9日(月)

【対象発電所】四国電力(株)伊方発電所

【訓練内容】

- ・中央と現地組織の連携による避難計画等に係る意思決定訓練
- ・全面緊急事態を受けた実動訓練

訓練評価を併せて実施

- ・評価員による評価
- ・訓練参加者によるアンケート 等

訓練に対する評価(評価員、アンケート等)の分析

実施成果報告書【平成28年3月】 ※平成28年1月に中間報告を実施

- 「伊方地域の緊急時対応」の検証や改善に資することを目的に、訓練の実施成果を取りまとめ
- 取りまとめに当たっては、以下の順序で整理
 - 佐田岬半島の地理的特殊性に基づき、訓練評価を行った観点を明確化【第2節】
 - 上記を踏まえ、訓練実施要領に基づく個別訓練項目ごとに評価結果を含む訓練実施成果を整理(各訓練項目に対して、「良好な事項」「改善すべき事項」「処置・対策」の評価結果を記載)【第3節】

実施成果報告書を各種施策の改善等に反映

【平成28年4月以降】

- 地域原子力防災協議会での検討を通じて、「伊方地域の緊急時対応」や各種マニュアルを改善
- 避難の時間尺度など今回の訓練で得られた諸元等を次回の訓練に反映して繰り返し検証

「伊方地域の緊急時対応」の一層の 具体化・充実化に向けた検討事項

○情報伝達体制の強化

- ・スマートフォンアプリのプッシュ通知機能の追加等

○一時集結所までの順路における避難円滑化対策

- ・ルート・順路の具体化、道路の状況を踏まえた町内移動用車両サイズの具体化

○避難先への避難の円滑化対策

- ・ヘリ映像を用いた道路混雑把握・渋滞緩和策

○伊方町ワークショップ結果の反映

○原子力総合防災訓練で運用した実施方針を踏まえた対応

- ・原子力総合防災訓練を通じて検証した予防避難エリア（ケース2）の緊急時対応への反映

○放射線防護施設の増設を踏まえた対応（特に佐田岬半島）

○UPZ市町ごとにおける、避難先までの主な避難経路

○物資集積拠点及び物資・放射線防護資機材の一時集結拠点の明確化

○緊急時モニタリング地点及び一時移転等の実施単位

- ・一時移転等の実施単位の明確化

○被ばく医療体制

○ゼリー状安定ヨウ素剤